

## 行政職員向け公民連携セミナー 開催報告

【建築住宅課】

東日本大震災から4年半が経過し、被災地では復興に伴う工事が目に見えて進んでいます。一方で、岩手県が復興に邁進している間に、国内の社会情勢は大きく変化しています。それは人口減少社会と空き家の増加です。

本県でも、人口も世帯数も既にピークを過ぎ、縮退社会に突入するとともに、空き家も増加しています。今は復興需要のために若干減少していますが、復興が完了する頃には、一気に空き家が増加すると予想されます。空き家の増加は、防災や防犯、環境衛生上の問題だけではなく、地域づくりやまちづくり、財政問題にも繋がる、複合的で複雑な問題です。

これらの諸問題を、10年も20年も先を見据え、根本から解決していくため、民間と行政が一体となって地域課題解決に取り組む「公民連携」が重要になると考え、**県や市町村の行政職員向けに、公民連携セミナーを開催**しています。

公民連携セミナーは、岩手県内に公民連携事業を立ち上げることを目標に、民間主導によるリノベーションまちづくりや行政に必要な立ち回り等を身に付けるため、一般社団法人公民連携事業機構の協力により行われています。

民間主導のまちづくりを、政策の中にしっかりと位置付け、民間と行政が連携して地域課題解決のため、**全国的にも先駆けとなるこの取組を、岩手県内各地に広げていきたいと考えています。**

第1回：9月24日 リノベーションまちづくり（参加者82名）

講師 一般社団法人公民連携事業機構 代表理事 清水 義次 氏

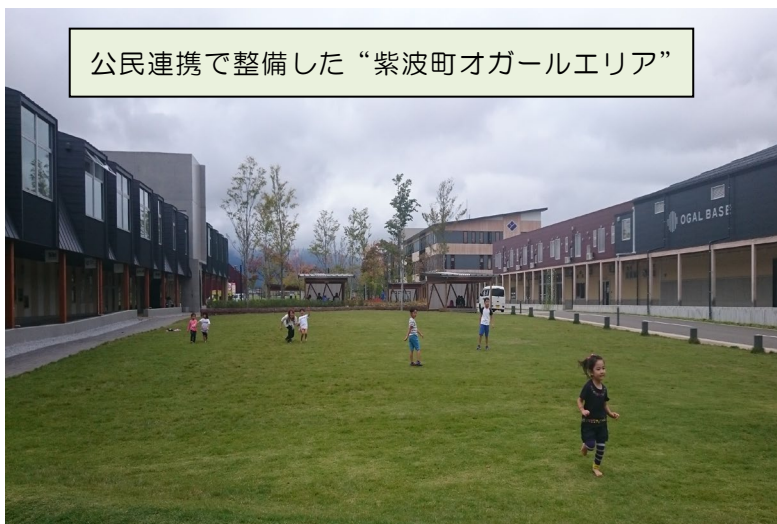
第2回：10月21日 稼ぐ公民連携事業（参加者82名）

講師 一般社団法人公民連携事業機構 理事 木下 斉 氏

第3回：12月11日 公務員リノベーション

講師 一般社団法人公民連携事業機構 理事 岡崎 正信 氏

公民連携で整備した“紫波町オガールエリア”



10月21日セミナーの様子